

平成27年度茅ヶ崎西浜高等学校 学校目標

学校目標	取組の内容	
	具体的な手立て	評価の観点
<p>〈教育課程〉 生徒一人ひとりに応じた柔軟で発展的な教育課程の作成に努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程に準拠した指導計画や指導方法・評価方法を確立し実行する。 ・教育課程に準拠し本校生徒の実情に即した魅力ある教育課程の編成を行う。 ・進路希望に応じた科目選択ができるようガイダンス体制を充実させる。 ・「選択科目説明文」の内容を充実させ、履修指導を徹底させる。 ・ロングホームルームや、「総合的な学習の時間」を活用した学年ごとの進路ガイダンスを充実させる。 ・技能審査・資格取得等を通じて、意欲的な学習活動を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の現状に合わせた教育課程編成の作成ができたか。 ・「選択科目説明文」の内容を充実させ、ガイダンス体制を充実させることができたか。 ・生徒が、進路希望に応じた科目選択をすることができたか。 ・各種検定等への受検者数、合格者数を増加させることで、生徒の資格取得への意欲を高めることができたか。
<p>〈学習指導・授業改善〉 指導方法を改善し、基礎学力の定着を図り、「わかる喜び」「学ぶ喜び」を実感できる授業づくりに努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「年間指導計画」を着実に実行し、言語活動を充実させた授業展開を図る。 ・新学習指導要領に則した授業の実践に向け、組織的な授業改善に取り組み、指導力の向上を図り、学力向上に寄与する。 ・「生徒による授業評価」の結果を分析し、授業改善に反映させる。 ・テスト問題の作成や評価方法を工夫し、生徒の学習意欲を向上させる。 ・放課後や長期休業を活用し、補習・補講の充実を図る。 ・ICT利活用教育推進モデル校としてICTを利用したわかりやすい授業の課題や可能性を研究する。 ・芸術を重視して生徒の作品等の展示・発表を進め、創作や活動の意欲を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「年間指導計画」に沿ったわかりやすい授業を行い、生徒が意欲的に取り組むことができたか。 ・組織的な授業改善を進め、生徒の言語活動や成果発表の場を充実させることができたか。 ・生徒による授業評価の満足度を高めることができたか。 ・補習・補講の開講講座数を増加させることができたか。また、参加生徒数は増加したか。

<p>〈生徒指導・支援〉</p> <p>基本的な生活習慣や社会性を身につけさせ、他者を尊重する態度を養うとともに、きめ細かな教育支援に努める。</p> <p>教育相談の充実を図り、迅速かつ適切な支援を目指す。</p> <p>生徒の主体性を伸張させ、自発的な活動を通して協働する力、課題解決能力を育成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・遅刻指導を重点項目に掲げ件数が減少するよう、保護者との連絡を密にし、全職員で統一的な指導を行う。 ・頭髪服装などについて全職員できめ細かな指導を行い、生徒の規範意識やモラル・マナーの向上を図る。 ・登下校時の交通安全指導、巡回指導等を行ない、交通ルールを守り、マナーの向上を図る。 ・生徒に関する情報を職員間で共有し、問題の発生を未然に防ぐことをめざすとともに、問題発生の場合は、解決に向けた取組を着実に進める。 ・教育相談の充実を図り、個々の生徒を適切に支援する、 ・部活動の加入率を高め、活動の活性化を図り、上位大会等への出場を目指す。 ・生徒会活動、学校行事、部活動等の活動を通して、自己肯定感、他者理解、課題解決能力を養い、生徒が主体的に取組めるよう細やかな指導、支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遅刻の件数を減らすことができたか。 ・服装・頭髪指導の件数を減らすことができたか。 ・問題行動の発生件数を減らすことができたか。 ・交通事故、交通に関する苦情等の件数を減らすことができたか。 ・生徒を支える体制が機能したか。 ・各部の活動状況、入部率を高めることができたか。 ・部活動の活性化と、県大会へ5部以上の出場を果たすことができたか。 ・各行事の実施状況・アンケート結果から生徒の取組がより充実したか。
<p>〈キャリア教育〉</p> <p>キャリア教育実践プログラムを充実させ、生徒の進路意識を高め、進路第一希望の実現を目指す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入学から卒業までのキャリア発達を意識的にプログラムし進路実現に取り組む。 ・学年ごとの進路説明会・進路相談等、ガイダンス機能の充実を図り、自らが主体的に取り組む態度を育てる。 ・大学見学やインターンシップへの積極的な参加を呼びかけ、進路意識の向上を図る。 ・ボランティア活動や地域貢献デーを通じて、シチズンシップ教育を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第1希望の進路先への合格率 80%以上を目指し、生徒の進路実現を達成できたか。 ・大学見学やインターンシップへの参加者数を増やすことができたか。 ・ボランティア活動への参加実績は増加したか。また、振り返りシート等を通じて、シチズンシップに対する生徒の意識を測る。

<p>〈地域等連携〉 保護者・地域と連携して、信頼される学校づくりを進める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の中学校や小学校と交流を進め、教職員の資質向上を図る。 ・様々な機会を捉え、保護者・地域の声に迅速で丁寧に対応する。 ・生徒会行事などへの保護者や地域の参加を積極的に呼びかけ、生徒の活動の様子を知ってもらう。 ・学校評議員会等を通じて地域・関係機関との連携を図り、交流の内容を多様化する。 ・近隣の大学との高大連携を一層進める。 ・学校説明会の開催や中学校訪問等を通じて特色の周知を図り、中高の連携を進める。 ・施設開放を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校や小学校との交流が進んだか。 ・学年懇談会等を通じて、多くの意見、提案を集約し、改善することができたか。 ・学校評議員会を始めとする関係機関との連携の機会を年に3回以上もつことができたか。 ・学校説明会等への参加者は増加したか。 ・ホームページ等を活用した情報の発信は進んだか。 ・施設利用者が増加したか。
<p>〈学校運営・学校管理〉 安心で安全な教育環境を確立し、生徒一人ひとりが気品と誇りを持ち、のびのびと学習できる環境を整備し、命の大切さを重視した信頼される学校づくりを進める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員、生徒、保護者が一体となってより良い学校環境づくりを継続して考えていく。 ・生徒の活動がより活発となるよう、PTAと協力して校内環境の整備にあたる。 ・日々の清掃活動を大切に、安全で衛生的な教育環境を維持する。 ・不祥事防止会議等の活動を通じて職員の意識を高める。 ・あらゆる災害や事故に対応した柔軟な防災体制を構築し、実践的な指導プログラムにより体験的な防災教育に取り組む。 ・緊急的な対応に向けて、生徒・保護者・教職員が情報を共有できる手立てを周知徹底する。 ・地域との連携を含めた防災体制を見直し、強化する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校保健委員会と厚生委員会で連携し、校内整備活動につなげることができたか。 ・清掃活動を通して、快適な学習環境の維持に努め、情操教育を進めることができたか。 ・PTAと連携して具体的な環境整備計画に沿って活動できたか。 ・不祥事防止会議を年に10回以上開き、職員の不祥事防止意識を高めることができたか。 ・節電、節水の励行、紙の節約等により環境意識を高めることができたか。 ・災害発生時にとるべき行動や正しい情報収集の仕方が理解できているか。 ・災害時における地域との連携について、協議は進んだか。
<p>教育目標・教育方針・中長期的な方針など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の充実と向上につとめ、豊かな情操と創造力を養う。 ・常に謙虚に学ぶ態度を身につけ、平和と人権を尊重し、自己の向上にたゆまず努力する人間を育成する。 ・自律的な生活態度を養い、誠実にして実践力をもち、信頼される人物を育成する。 ・気力、体力の充実につとめ、心身の健全な育成をはかる。 ・命の大切さや他者への思いやりの精神を身につけさせるとともに、学校独自や市・地域と連携した防災訓練を実施することにより、学校防災力の向上をめざす。 		

